

未来技術ミニシンポジウム
河内長野市発表資料



のんびり、楽しく、いかへん？
クルクル

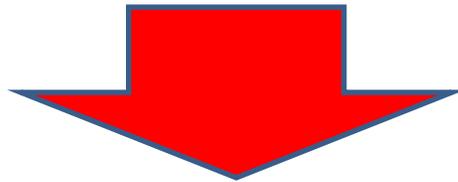


河内長野市
総合政策部政策企画課

1.自動運転実装の目的

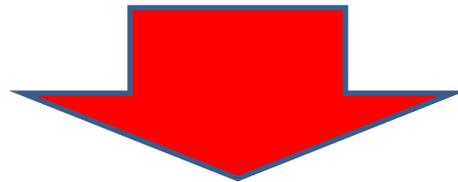
地域住民主体による、自動運転技術を活用した持続可能な移動支援サービスの実現

- ・移動手段の確立はもちろん、地域のコミュニティづくりにも寄与する取組み
- ・住民主体の運営体制の確立⇒持続可能な移動支援サービスの確立



自動運転技術は、地域ボランティアの安全性向上と運行負担軽減に繋がり、運営の継続性を高めるための手段

- ・自動運転による運転時の負担軽減
- ・電磁誘導線方式による安全性の高い自動運転
- ・遠隔操作システムによる担い手の負担軽減



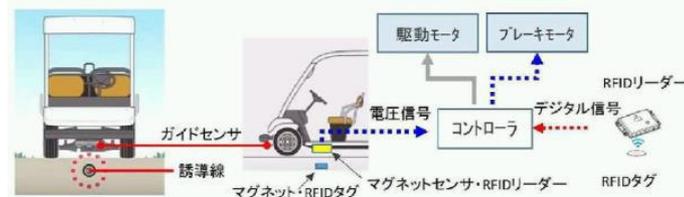
「住み慣れた場所で、元気に生きがいを持ち安心して暮らし続けられるまち」を実現

2.南花台モビリティ「クルクル」自動運転運行概要

■電磁誘導線式自動走行システム

減速、加速、停止、右左折(ウインカー)表示は道路に埋め込まれたRFIDタグにより管理され、自動化

■電磁誘導式自動走行システム



■運行期間

2021年10月16日～ ※毎週 土曜日

■運行ルート

右記、A・Bルート(総距離約3.7km)
※自動運転時は最高速度12km/h

■運行スケジュール

10時台～13時台

下記のとおり30分毎にルート運行

00分～ Aルート運行/30分～ Bルート運行

※乗客の乗り降りが無ければ、15分程度で周回可能

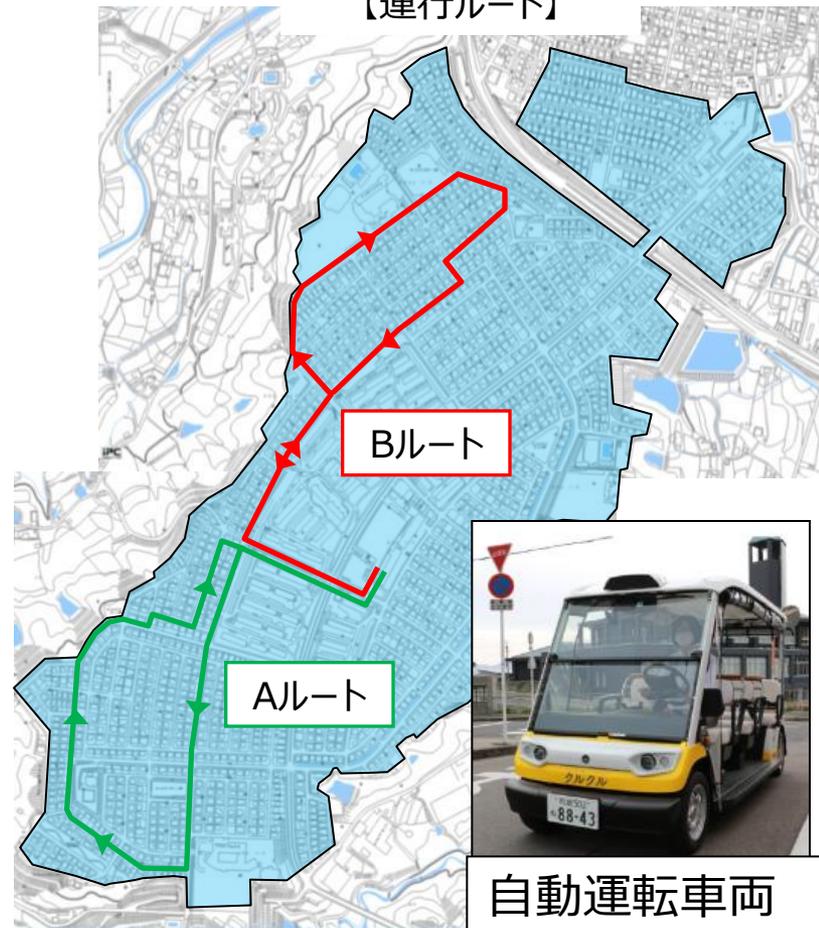
■運行体制

スタッフ数:約60名

運転手・補助者のスタッフ2名が常時乗車

自動運転ルート上の乗降ポイントに到着予定時刻を記載
信号機や路上駐車等、電磁誘導線以外の指示が必要な
場合は手動切り替え

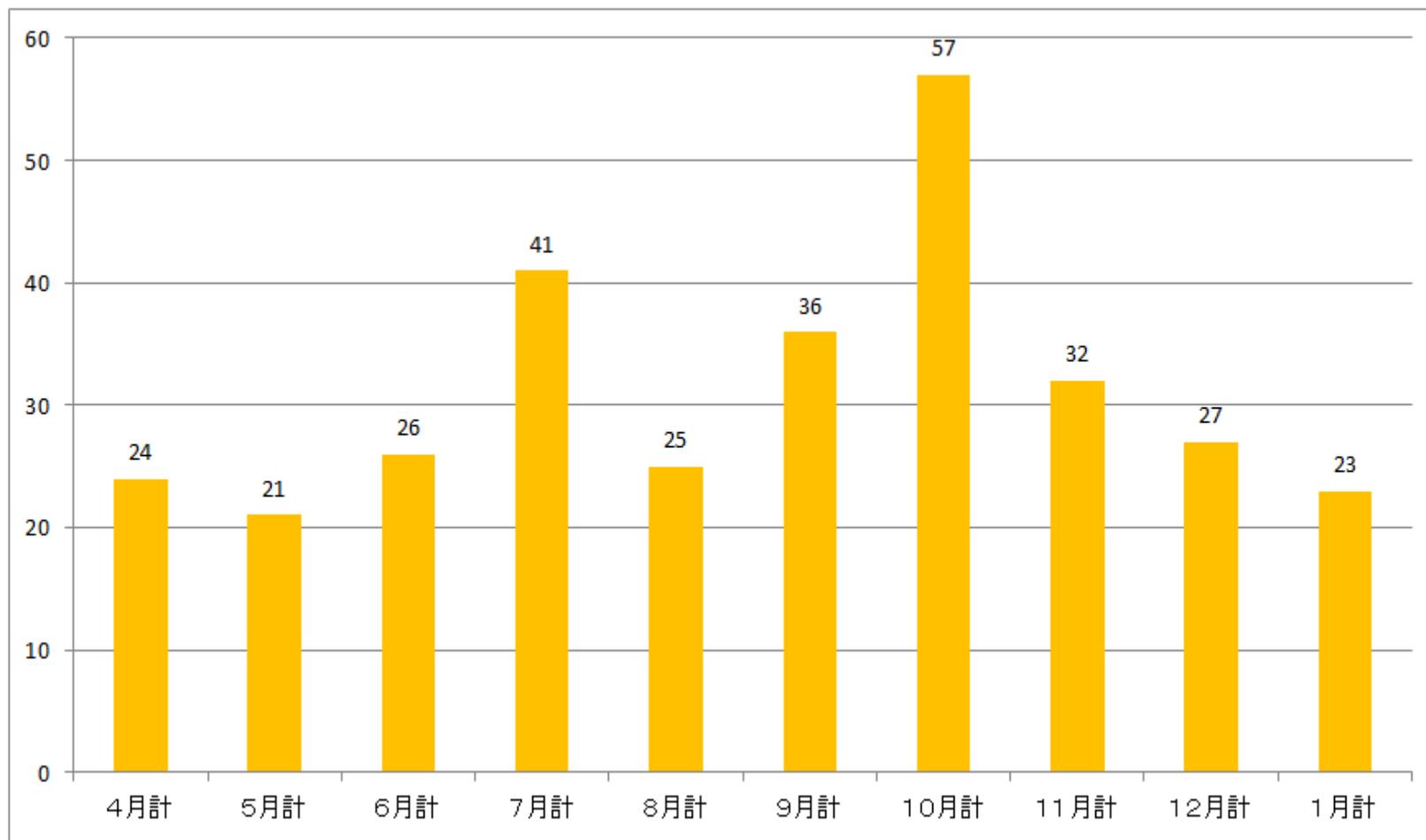
【運行ルート】



自動運転車両

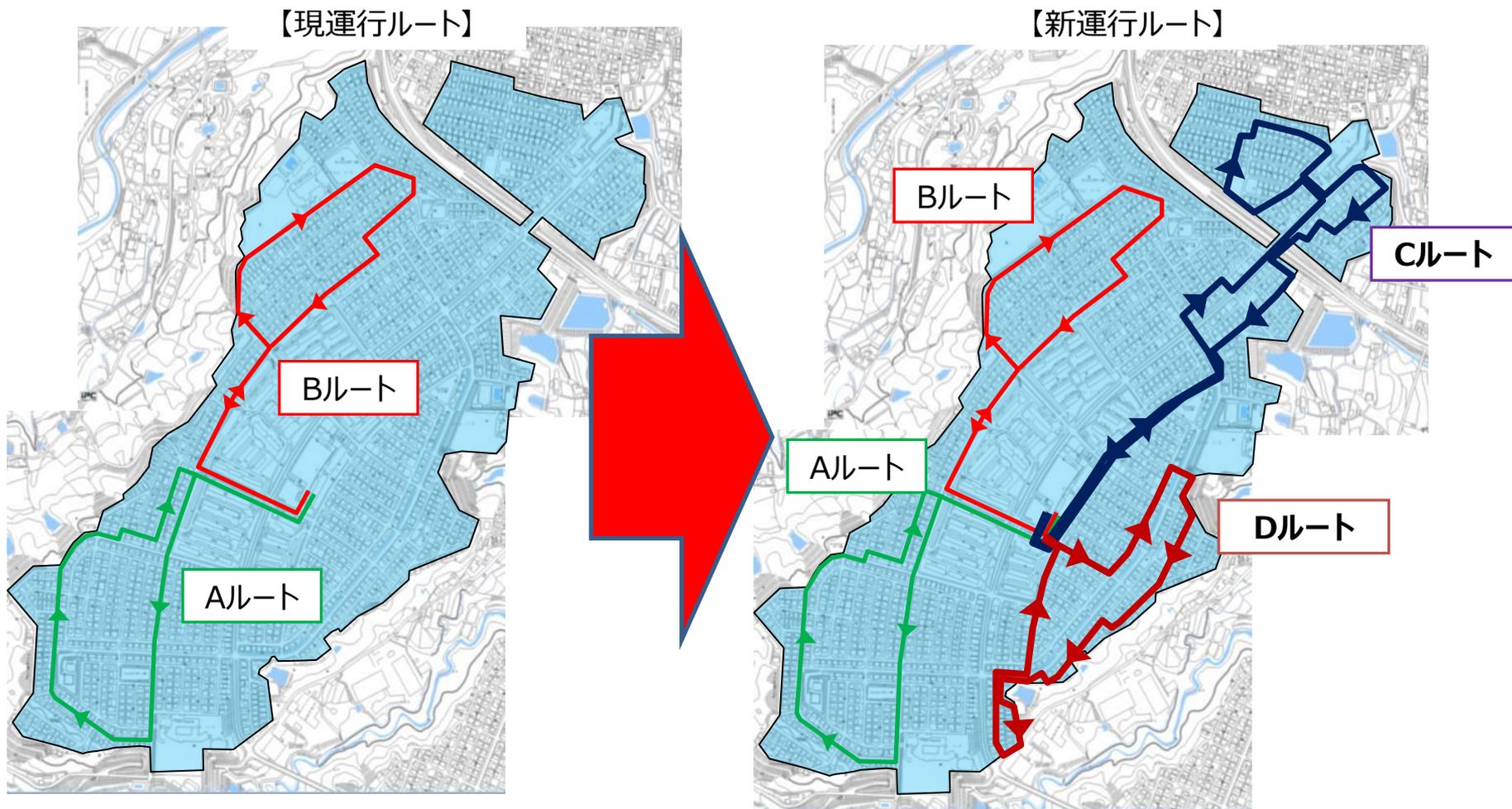
3.運行実績

令和4年度は平均6人～8人／日程度で推移



4.南花台全域へのルート延伸

■これまでの移動支援事業によって利用ニーズの高い場所を通りつつ、南花台全域をカバーするため、右図の様にC・Dルートを延伸
⇒令和5年3月11日(土)から運行開始



5.遠隔監視システムの導入

- 車内のカメラで取得した画像をリアルタイム(超短遅延)で監視用モニタに送信
⇒監視拠点にしながら、車両の運行監視が可能
- 遠隔監視の環境体制を整えた後、拠点から遠隔操作が可能なシステムを導入予定
- 遠隔操作システムにより、1人で複数台の車両を監視・操作するなど、将来の担い手不足を解決することを目指す。
- 令和5年2月24日(金)から遠隔監視システムを導入し、実装における課題・効果検証を実施。



遠隔監視イメージ



のんびり、楽しく、いかへん？
クルクル

ご清聴ありがとうございました。